

みずほCustomer Desk Report 2022/12/12 号 (As of 2022/12/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.90 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.65	1.0557	144.40	1.2232	0.6775
SYD-NY High	136.91	1.0587	144.47	1.2321	0.6812
SYD-NY Low	135.61	1.0500	143.19	1.2208	0.6744
NY 5:00 PM	136.57	1.0531	143.96	1.2267	0.6796

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,476.46	▲ 305.02	日本2年債	▲0.0100%	0.0000%
NASDAQ	11,082.00	▲ 77.39	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,934.38	▲ 29.13	米国2年債	4.3401%	0.0272%
日経平均	27,901.01	326.58	米国5年債	3.7704%	0.0603%
TOPIX	1,961.56	20.06	米国10年債	3.5847%	0.0964%
シカゴ日経先物	27,775.00	25.00	独10年債	1.9195%	0.1025%
ロンドンFT	7,476.63	4.46	英10年債	3.1790%	0.0870%
DAX	14,370.72	106.16	豪10年債	3.3020%	▲0.0350%
ハンセン指数	19,900.87	450.64	USDJPY 1M Vol	12.39%	▲0.52%
上海総合	3,206.95	9.60	USDJPY 3M Vol	11.78%	▲0.33%
NY金	1,810.70	9.20	USDJPY 6M Vol	11.33%	▲0.23%
WTI	71.02	▲ 0.44	USDJPY 1M 25RR	▲1.03%	Yen Call Over
CRB指数	266.28	▲ 0.12	EURJPY 3M Vol	10.74%	▲0.38%
ドルインデックス	104.81	0.04	EURJPY 6M Vol	10.87%	▲0.21%

東京	東京時間のドル円は136.65レベルでオープン。実質5・10日による実需のドル買いもあり仲値にかけて136.90まで上昇。しかし、仲値後にかけては特段のヘッドラインがないながらも対EURやAUDでドルが弱含み135.77まで下落。ドル売り一服後はやや値を戻し136.08レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.08レベルでオープン。株が買い戻される中で立ち上がりは円安方向。136.46円まで上昇。しかし午後には米指標を控えてか反落すると135.70円まで売られ結局135.77レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は薄い取引の中、本邦勢の円買いが持ちこまれたとの話や、USD売りに135.70まで下落し、135.77レベルでNYオープン。朝方は米11月PPIが予想を上回ったことから136.70まで戻すものの、利益確定の売りに135.96まで反落する。その後も、続いて発表された12月シガン大学消費者信頼感指数で、今度は1年後のインフレ期待が4.6%と予想4.9%を下回ったが、ヘッドラインが59.1と予想を上回り、前回からも改善したことから136.91まで戻す。午後は、週末を控え積極的な取引は控えられ、136.40付近での推移が続き、136.57レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことから1.0587まで戻し、1.0557レベルでNYオープン。朝方は米PPI結果を受けたドル買いに1.0500まで下落するが押し目買いに1.0563まで戻す。その後もシガン大学消費者信頼感指数結果を受けたドル買いに、1.0519まで下落する。午後は週末を控え、1.0550付近での推移が続き1.0531レベルでクローズした。

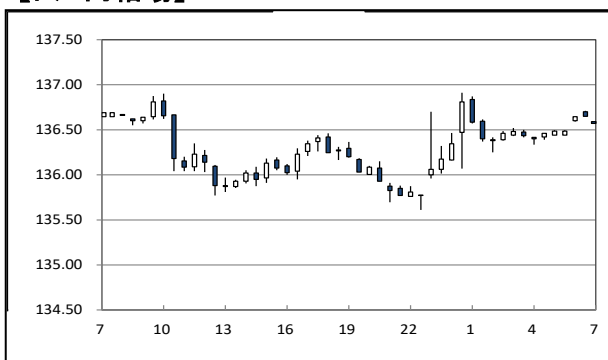
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月9日	10:30	中 CPI(前年比)	11月 1.6%	1.6%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0.3%/7.4%	0.2%/7.2%
12月10日	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	10月 0.5%	0.8%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	10月 0.4%	0.3%
	00:00	米 シガン大学消費者マインド・速報	12月 59.1	57.0

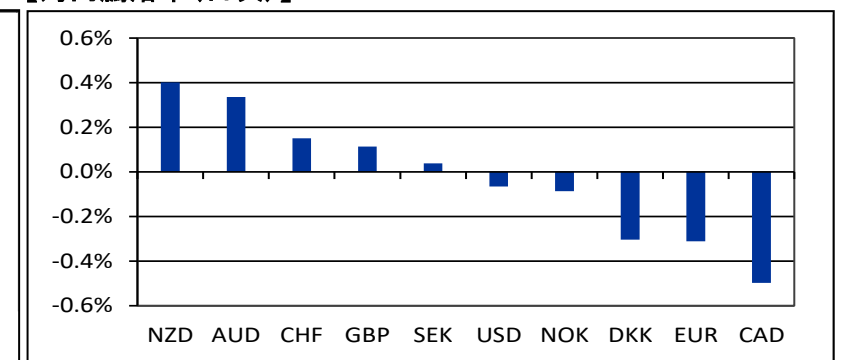
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月12日	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0%/-2.5%	0.2%/-3.1%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 -0.1%/-5.4%	0.0%/-5.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-137.30	1.0500-1.0570	143.00-144.30

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は小幅低下。東京時間のドル円は136.65レベルでオープン後、時間外取引で米金利が低下したことで日米金利差縮小を見込んだドル売り優勢となり、135円後半まで下落した。米PPIが市場予想を上回ったことでFedは2023年も利上げ継続との見方が強まり、米OISで見た2023年11月時点での利上げ織り込みは前日比で7bp上昇、再び136円半ばまで上昇、136.57レベルでクローズ。本日のドル円は小幅上昇する展開を想定。先週末は、米PPI発表までは米金利低下、ドル売りが見られていた一方、堅調な結果を受けて全てアンwindされた。明日に発表を控える米CPIは前月から小幅低下がコンセンサスとなっているが、米PPIが市場予想を上回ったことで上振れる可能性が警戒されるだろう。また、足許米10年実質金利は1.2%前半から半ばでおさえられていたが、1.3%台に到達していること、米10年債先物は100日移動平均線をつけた後、反転していること等から米金利上昇、ドル買いが意識されやすいか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大橋・松永